



2/1 勇壮な演舞を披露

冬のみちのく芸能まつり

鬼よ燃えろ！冬のみちのく芸能まつり Part16(北上市民俗芸能協会主催)は、さくらホールfeat.ツガワで開催されました。

鬼剣舞をはじめとする市内の民俗芸能のほか、市外の綾織し踊り(遠野市)なども披露され、熱気あふれるステージが繰り広げられました。

来場した千葉舞さん(奥州市・79歳)は「太鼓や踊りの迫力がとても良かった」と語りました。



2/11 色とりどりのティラノサウルスが大激走 第2回ティラノサウルスレース

ランフェスきたかみ～冬の陣～第2回ティラノサウルスレース(ランフェスきたかみ実行委員会主催)は、北部交流館で開催されました。

当日は県内外から45人が出場。参加者はティラノサウルスの着ぐるみを着用したまま、レースに加え、ドッジボールや障害物リレーなどにも挑みました。

遠藤千尋さん(盛岡市)は「レースだけでなく企画も楽しかった。また参加したい」と笑顔で語りました。

2/1 福も鬼もみんな集まる

福豆鬼節分会

令和8年福豆鬼節分会(市教育委員会、岩崎地区自治振興協議会主催)は、鬼の館で行われました。

節分を通じて鬼や伝統的な文化への理解を深める目的で、庭田植えや民俗芸能公演、参加型ゲームなど多彩なイベントを開催。福豆まきでは、「鬼もうち、福もうち」の掛け声とともに来場者が豆を拾い集めていました。

中村智恵子さん(和賀町岩崎新田)は「子どもが出演した鬼剣舞を見て感動した」と声を弾ませました。



2/3 道路や橋を造る機械への乗車体験

乗ってみよう はたらくクルマ

乗ってみようはたらくクルマ(岩手県建設業女性協議会北上支部主催)は、hoKkoで開催されました。

同イベントは、建設機械への乗車体験を通して建設業への理解を深めてもらうと企画されたもの。会場には親子連れが訪れ、子どもたちは、実物やおもちゃの建設機械に触れるなど、目を輝かせながら楽しんでいました。

鈴木翔遥君(ふたば認定こども園横川目こども園・3歳)は「実際に乗れて楽しかった」と笑顔を見せました。



1/21 食育の取り組みが評価

栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞

栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞した社会福祉法人北上愛児会川岸保育園の関係者は、八重樫市長に受賞を報告しました。

園児が野菜を育てる活動などを通じて食材に触れる機会を創出してきたほか、発達段階に応じた調理を実践し食事への興味を促す活動などが評価されました。

同法人の高橋肇子理事長は「これからも園児にうれしい給食を届け、食育活動も取り組みたい」と語りました。



1/25 北上の民俗の奥深さ感じる報告

フォーラム 北上の民俗を考える

フォーラム北上の民俗を考える(岩手民俗の会主催)は、生涯学習センターで行われました。

「新編北上市史特別編民俗」の執筆者8人全員が登壇し、これまでの調査内容を報告。来場した約30人は熱心に耳を傾け、北上の民俗の奥深さを感じていました。

木村恵さん(中野町)は「自分が県外出身者ということもあり、興味深く聞くことができた」と話していました。

1/18 新春の舞、藤根地区に集う

藤根地区郷土芸能踊り初め会

藤根地区郷土芸能踊り初め会(藤根自治振興会主催)は、JAいわて花巻和賀町支店で開催されました。

長清水山伏神楽、中野田踊、道地ひな子舞、下藤根さんさ踊、北藤根鬼剣舞、北藤根鬼つ子舞のほか、特別出演として、杜乃七頭舞(宮城県黒川郡大和町)などが出演し、会場から大きな拍手が送られました。

小原アサ子さん(和賀町藤根)は「杜乃七頭舞は初めて見たが、迫力があって目を輝かせていました。」



1/25 雪いっぱい笑顔いっぱい

第23回ふるさと雪っこまつり

第23回ふるさと雪っこまつり(和賀地区自治協議会主催)は、ふるさと体験館「北上」で開催されました。

雪上かるた取り大会や雪っこ宝さがし、餅つきなどが行われたほか、「和賀西中企画! アスパラ×雪合戦!」では、和賀の名産アスパラをフラッグに見立てて奪い合うユニークな勝負が繰り広げられました。

高橋璃空さん(和賀西中2年)は「みんなが楽しそうにやっていたよかったです」と笑みを浮かべました。

